



## 国際第2委員会 (委員数：23名／担当：山中常務理事)

◆担当領域：欧州、アフリカ、PCT

◆活動方針：

- ・グローバルに活躍できる知財人材となるための機会を提供
- ・国内外への情報発信によるJIPA会員企業への貢献

◆主な活動

◇会議派遣：

- ・PCT作業部会、SACEPO（今年度はいずれもweb開催）

◇意見交換：

- ・JPO定例（審査基準室・品質管理室）、EPO、WIPO

◇発信：

- ・論説、外国特許ニュース、JIPAシンポ、部会発表、パブコメ対応



## 第1小委員会（委員数：8名）

- ◆ テーマ名：LOR(License of Right)\*の利用実態の調査・研究
- ◆ 狙い：LORは有用であるのか、どのような特許で活用すべき制度であるのか？日本で取り入れるべき制度か？会員企業の指針となる情報の提供と、特許庁への政策提言を目指す。
- ◆ 内容の概略
  - 英・独のLORの概要（代理人ヒアリング等）
  - 英・独のLOR統計データ分析（イギリス・ドイツ）
  - 英・独の特定企業/業界の特許戦略分析
- ◆ アウトプット & スケジュール
  - 知財管理誌への論説投稿（20年度内に初稿作成完）

※ 特許権者あるいは特許出願人が、当該特許について第三者への実施許諾を拒否しないことを宣言することによって、特許料の減額を受けられる制度



## 第2小委員会（委員数：8名）

- ◆ テーマ名：英独仏以外の欧州諸国の知財制度の研究
- ◆ 狙い：欧州における主要国(英独仏)以外への事業展開の際に有用な知財情報を提供する。訴訟等の知財リスクや、出願国の選定に役立つ各種統計・制度情報を取りまとめる。
- ◆ 内容の概略：イタリア・スペイン・スウェーデン・ポーランドを対象に以下の事項を調査する。
  - 出願・審査制度の調査
  - 各国の出願の実態の調査
  - 訴訟実態の調査
- ◆ アウトプット & スケジュール
  - 知財管理誌への論説投稿（20年度内に初稿作成完）

来年度も同テーマで継続活動することも検討中。2年間の活動成果として各国の研究成果をまとめ、マニュアル化する可能性あり



## 第3小委員会（委員数：7名）

- ◆ テーマ名：PCT出願制度に関する研究
- ◆ 狙い：2018年6月から2020年6月まで実施された「PCT協働調査試行プログラム」は、制度趣旨やユーザーのニーズに合うものとなっていたか？まずは対象案件のISRを調べ、主担当庁と副担当庁の調査状況を確認する。
- ◆ 内容の概略：Patent Scopeを用いてJPOが受理官庁・調査機関となり英語出願されたものから対象案件を抽出し、小委員会内で実態調査を進めている。
- ◆ アウトプット & スケジュール  
知財管理誌への論説投稿（20年度内に初稿作成完）